



2026 SUPER GT RACE REPORT

OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

Rd.1

4.11[sat] - 12[sun]

[place] 岡山国際サーキット(岡山県美作市)

[weather] [sat] 晴れ [sun] 晴れ

[spectators] 25,500人 ([sat] 9,000人 [sun] 16,500人)

Rd.1	OKAYAMA International Circuit	APR 11 - 12
Rd.2	FUJI SPEEDWAY	MAY 3 - 4
Rd.3	Sepang International Circuit	JUN 20 - 21 *開催延期
Rd.4	FUJI SPEEDWAY	AUG 1 - 2
Rd.5	SUZUKA CIRCUIT	AUG 22 - 23
Rd.6	Sportsland SUGO	SEP 19 - 20
Rd.7	AUTOPOLIS	OCT 17 - 18
Rd.8	MOBILITY RESORT MOTEGI	NOV 7 - 8

予選・決勝ともにトラブルに悩まされるも、
諦めずに走り切って14位完走。
原因究明を急ぐ。



2026 AUTOBACS SUPER GT SERIES Round1「OKAYAMA GT300km RACE」が、4月11日・12日に岡山国際サーキットで行われた。#37 Deloitte TOM'S GR Supra(笹原右京/ジュリアーノ・アレジ)は、昨年も速さをみせていた岡山での開幕戦で上位進出を目指したが、予選でパワーダウンの症状に見舞われた影響でエンジン交換を実施。後方から追い上げるレースを展開していたが、後半ステントで再びトラブルが発生。修復後コースに復帰したが、14位でレースを終えた。



37		RESULTS	
TGR TEAM Deloitte TOM'S		Round 1	
 Deloitte 笹原 右京 UKYO SASAHARA	 Deloitte ジュリアーノ・アレジ GIULIANO ALESI	QUALIFYING 1	ALESI P13/1'20.463
		QUALIFYING 2	-
		RACE / Fastest Lap	SASAHARA 1'21.221 ALESI 1'22.688
		予選 13 位	決勝 14 位
		Driver Standings	-
		Team Standings	14 位

QUALIFYING

天候:晴れ | 気温:25°C | 路面温度:37°C

今年も笹原とアレジのコンビを継続し、優勝はもちろん、シリーズチャンピオンを目指す37号車。昨年の岡山大会ではペナルティによる順位後退があったものの、力強いペースを発揮していたため、今年は結果を出して幸先の良いスタートを目指した。

予選Q1はアレジが担当し、トップ10圏内を目指してピットアウトした。しかし、タイムアタックをしようとしたところでアクシデント車両が発生して赤旗中断。再開後、もう一度タイムアタックに臨もうとした矢先に、突然エンジンのパワーが出ない症状に見舞われ、ペースを上げられないままピットイン。その後対策をしてチェック走行のため1周走ったが症状は改善されず、予選13位でセッションを終了した。



RACE

天候:晴れ | 気温:24°C | 路面温度:39°C

TGR-Dのスタッフとともに予選で起きたトラブルの原因究明にあたった結果、エンジン交換をすることになった37号車。今季は年間を通して使用できるエンジンは1基のみで、止むを得ず交換する場合は、スタート直後に5秒ストップのペナルティを受けることになる。13番グリッドから笹原がスタートを担当し、5周目にペナルティを消化。上位との差が大きく広がったが、粘り強く追い上げていった。しかし、レース途中からパワーダウンの症状が再び発生。48周目にピットストップを行い、アレジに交代したが、パワーダウンの症状は悪化する一方で、56周目にマシンをガレージに戻した。これで周回遅れとなり、ポイント獲得はかなり難しくなったが、マシンを修復してコースに復帰。それ以降は症状もなく順調に走り、トップから8周遅れの14位でチェッカーを受けた。

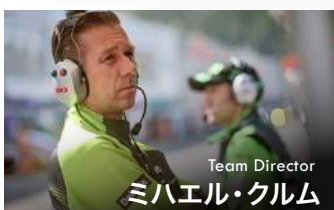


Driver
笹原 右京

僕たちにとっては厳しい週末になりました。何が原因なのかを見つける必要があります。まだ判明しきれていないところがたくさんあります。今年こそという意気込みで開幕戦に臨んでいたのに、正直言葉が見つかりません。僕のスティントではタイヤを相当酷使していたので、その影響でスピードが落ちているのかと思っていたのですが、後からデータを見たら、僕のスティントの段階からトラブルが出始めていたようでした。

Driver
ジュリアーノ・アレジ

予選でアタックしようとしたら、突然パワーダウンの症状が出ました。チームとTGR-Dのみんなが対応してくれて決勝も走りましたが、またパワーダウンの症状でピットに戻ることになりました。原因がまだよく分かっていないので、みんなが一生懸命調べているところです。今回はとにかくアンラッキーな週末だったと思います。メカニックのみんなもしっかりクルマを準備してくれて、ペースはあったと思うので、本当に残念です。次はしっかりリベンジしたいです。

Team Director
ミハエル・クルム

予選でトラブルが発生して、エンジン交換をして決勝に臨みましたが、レース中にまた問題が発生しました。同じパワーダウンでも、予選で起きた症状とは少し違うようなところもありました。クルマの速さは確実にあったので、トラブルがなければポイントを獲得できていたと思います。クルマも速いし、ドライバーも速いし、とにかくトラブルを修復して次の富士に臨みたいです。

Deputy
Team Principal
館 信秀

今回の37号車は運がなかったとしか言いようがない週末でした。予選でトラブルが発生した後も、いろいろな部品を交換して対策をしましたが、決勝でもまたトラブルが発生してピットガレージに入ることになりました。36号車が優勝して喜ぶ気持ちがある一方で、37号車は本当に悔しい予選と決勝になったので、心境としては少し複雑なところがあります。しっかりと原因を見つけて、次の富士では今回の雪辱を果たすレースをしたいと思っています。また次戦も、たくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Deloitte.

ZENT



TGR-D

BRIDGESTONE



EB BINGO

ほろらいせん
www.houraisen.co.jp

ISSE



PORTS.CO.JP

S&D
TAMA GROUP

ENKEI

HRX



ThreeBond



KRS